



透水性不良による滞水



固結土壌



潮風害・潮水害



乾燥による生育不良



排水不良による根鉢滞水



排水工(開渠排水)



防風工(防風柵)



客土(黒土半量混入)

(※1) 植穴のみ改良しても、周辺は固結状態にあり、根系発達を阻害するので、面状に改良することが重要。全面改良が難しい場合は、植穴の帯状改良(植穴連結)とする。
 (※2) 耕耘した場合でも、時間経過とともに、再び元の硬さに戻りやすい。長期にわたる土壌の物理性の改善を期待する場合は、バーク堆肥等混入による土壌改良工を検討する。
 (※3) 施用するバーク堆肥は完全堆肥とする。植栽を同時に行う場合は、窒素欠乏となる場合があるので、必要に応じて施肥を併用する。透水性不良地では、透水性を改善した上での施工とする。
 (※4) 保肥力のない土壌には、バーク堆肥等の有機物を投入して施肥を行う。排水不良地では、排水改善した上で施肥を行う。